

ぶどう収穫に満面の笑顔！

2005葡萄の木オーナーワイン制度「収穫祭」

(10月2日：ワイン城ぶどう畑)

特集／動き出る起業支援と技術者養成  
町政スポンサー／9月定例議会 地域情報化検討会で最終報告  
大沼町産葡萄農家の情熱が町の有形文化財に指定 ほか  
カメラさんぽ／第26回ワインまつり 葡萄の木オーナー収穫祭 第2回アップリイト展  
まごの国めぐり／かくかくデブデブ人形まつり  
北部地区レクリエーション大会 海の子山の子と遊ぼう ほか

# あさひまち

広報

2005年10月号  
No. 587





今回のプロジェクトに期待を寄せるＪＡさがえ西村山女性部朝日支部のみなさん 自慢の手づくり商品をＰＲ

## 特集●動き出す起業支援と技術者養成

# 起業支援で新たな雇用の創出と 活力ある地域の再生をめざして…

地域提案型雇用創造促進事業（以下「パッケージ事業」と表記）は、国（厚生労働省）が地域の人々の働く場を創り出すことをめざし、自発的かつ創意工夫を凝らして頑張る市町村や地元経済界の人々を応援するもので、市町村等の独自による雇用対策を、コンテスト方式により全国から選抜して財政支援する事業です。この事業を受けるにあたり、

町では「朝日町地域再生計画」を内閣総理大臣に申請しました。地域経済の活性化と雇用の創造を、地域の視点から積極的かつ総合的に推進していくため、今年四月に施行された「地域再生法」に基づく申請です。そして七月十九日、この計画のアイデアと有効性が認められ、同日付でパッケージ事業も正式な認定を受けることになりました。パッ

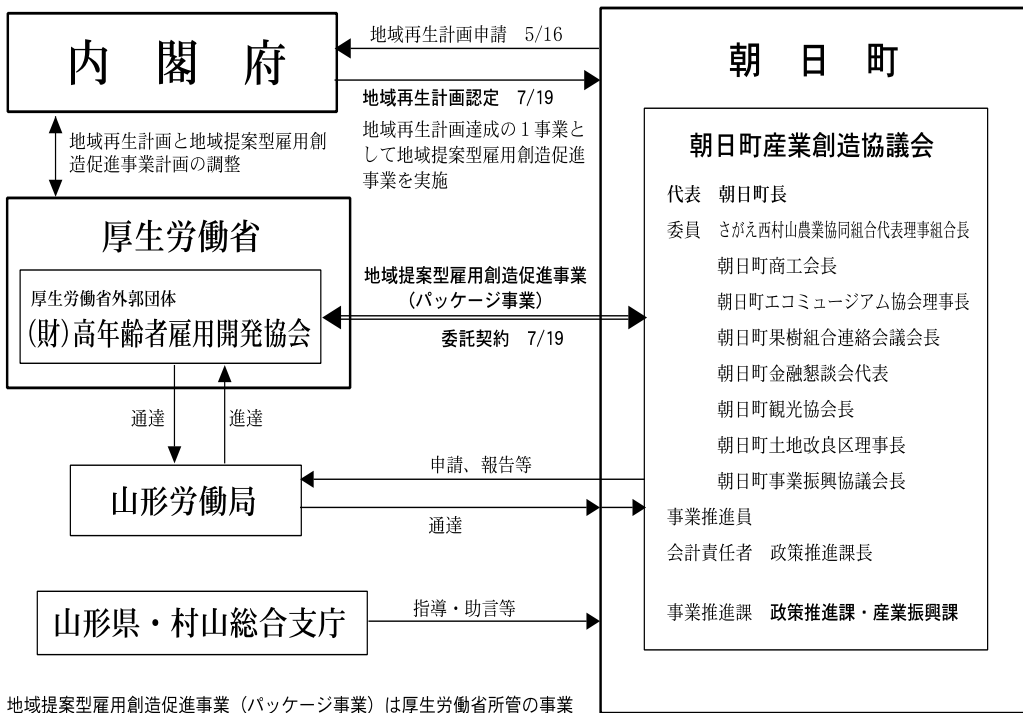
### 全国一律的な国の施策から 地域の特徴を生かした地方独自の施策へ

町民のしっかりした暮らしを築く環境づくりをめざし、新たな産業の開発と振興策で雇用機会の拡大を図ってこうと「朝日町産業戦略会議（葦沢守委員長＝町事業振興協議会長）」が発足し４ヵ月余り。鈴木町長が、平成17年度の施政方針演説の中でも示している重要施策の一つです。

これまで町づくりの理念としてきたエコミュージアムをもとに、地域資源を活用した新たな産業の創造を実現することが、地域経済の再生を可能にする。そんな発想で町が自発的に取り組んだ「地域再生計画」が国から正式な認定を受けると共に、6月には「朝日町産業創造協議会（代表＝鈴木町長）」が発足。住民と行政が連携し新たな雇用を創出するための具体的な施策を展開していく準備が、着々と進みつつあります。

今回の特集では、地域再生計画の認定を受け、これから具体的に進められる起業支援や技術者養成などの地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）について、詳しく紹介します。

## 地域再生計画と地域提案型雇用創造促進事業の関係図



地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）は厚生労働省所管の事業

ケージ事業は、全国の百件を超える申請の中から選ばれた六十五件の一つで、平成十七年度から三カ年間の事業となります。

この事業は、雇用対策を担う厚生労働省が決定し、(財)高

年齢者雇用開発協会と朝日町産業創造協議会（以下「協議会」と表記）が委託契約を結び実施するものです（左図参照）。今後、この協議会が、具体的な取り組みを展開していくこととなります。

これまでの補助金制度は、国が示した全国一律の活性化の目標と施策項目に基づき、補助金や交付金が自治体に配分されるものでした。そして自治体は、事業を認めた省庁が示す要綱や要領に沿った事業を実施することで、全国どこにでもあるような取り組みや建物が生まれ、独自の発想も画一された枠組みの中で流れてしまうという傾向にありました。

しかし、地域にはそこしかない自然や文化、生活様式など、独自の特徴や特色があります。それらを生かすには、施策立案はもとより、ほかの

### 「食」をキーワードに知恵と技が融合する 名付けて「朝日町平成のRINGOプロジェクト」

パッケージ事業では、この町にある「自慢の資源」と「まだ眠っている素材」を生かし、伝統の「技」と独自の「文化」、そして町民や町外で暮らす町出身者や応援団の「知恵」と「技」を、「食」をキーワードにして融合させる場をつくり出します。また、そのために必要な「人・組織・体制」という人材育成を担う

地域との競争で生き残るための戦略形成も地域に任せるべき。その方が、地域の課題に即した、より成果の上がる施策展開を可能にする。国はこれをしっかりと審査し支援をする。そのような視点から、パッケージ事業には「地域提案型」という言葉が含まれています。

つまり、町の経済界と行政が一緒になった協議会が、国に対して政策を提案。その内容が認められ、国からの委託を受けることになった事業と言えます。その事業費は、三カ年で約一億八百万円が見込まれています。

取り組みでもあります。

人材育成の内容としては、自ら起業や事業の多角化などに取り組みとうとする町民が、しっかりと売れる商品やサービスをつくり、利益を維持・成長させるために必要な経営戦略、マーケティング、商品企画の研修や販路の形成・拡大、めざすブランドの維持に重要な生産管理に関する研修

### 用語の解説

#### ■朝日町地域再生計画

町の魅力ある様々な資源をあらゆる面で活用し、生産・加工・販売まで独自のルートを築き上げることで、地域に根付いた新しい産業に発展させることができず。また、そうした産業が地元に着着することで、安定した収益の確保を可能にするほか、新たな雇用機会にもつながるのではないかと。つまり、町民がしっかりと暮らしを築いていく条件が整えば、町全体の地域再生は実現する。

そんな考え方のもと、町経済の再生実現に向け、町が自発的に取り組んだ計画です。

などを実施します。

また、自慢の農産物を生かし、加工による付加価値生産・販売で所得向上をめざす人には、高度な加工技術と一般的な加工製造技術の習得機会を設けます。食肉やりんごをはじめとする農産物、農業資材づくりなどの場面設定をして、専門の講師陣を招致するほか、トップブランドを持つ県外の

## 紅いリンゴと澄んだワインの町に 今元気な名古屋からエールを込めて



一大イベントの愛知万博も、お陰様で無事終了しました。朝日町の皆様は、何人の方が万博会場に見えられましたでしょうか。私も微少なながらお手伝いをさせていただきました。6月15日には万博EXPOドームで、山形県と宮城県合同による催事を開催できました。そして夕方には、名古屋ドームでの中日対ヤクルトのゲームに先立ち、山形のサクランボが2,000人に配られ、齋藤山形県知事の始球式を執り行い大盛況でした。また、名古屋駅前の名鉄デパートでは、一週間に渡り山形県「観光と物産展」を催し約8,000万円を売り上げました。9月3日から2日間、万博日本広場に

て北海道から沖縄県まで全都道府県が打ちそろい、物産販売・民謡・踊り・芸能などが披露されました。

町民の皆様には、秋の収穫と冬を迎える準備にと忙しいことかと思えます。先日お越しいただいた町職員の方から、これからの朝日町の取り組みについてお聞きしました。「理想と理念無くして進歩無し」という言葉があるように、高い理想と理念のもとに本事業（パッケージ事業）に取り組んでいただきたいと思います。桂玉之艱（みんなそれぞれの立場で頑張っているの意）という例えもあります。私たち遠地の者たちも、元気な故郷があればこそ頑張れます。

朝日町のますますの躍進と、町民の皆様のご健勝を御祈念申し上げます。

東海山形県人会常任幹事

森田鉄工所・マツダ電建（名古屋市）

代表 松田正行

優良企業への派遣研修も実施します。  
そして、三年から五年後に、培われた知識や技術と地

元の資源、応援団のアイデアや提案の融合が実現し、参加者自らが計画した商品やサービスが、売れる商品として定

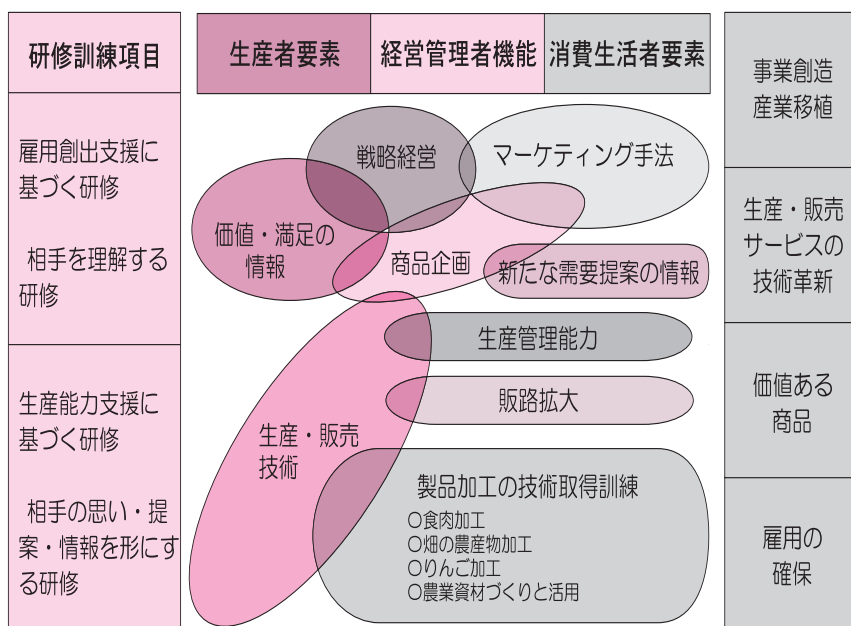
着していく。今回の事業から様々な食品産業が生まれ、この町に根付き、新産業で新たな生活の糧を得た町民が元気に成長している。このような状態をめざす取り組みが、朝日町のパッケージ事業です。

- 事業の全体調整
- ①朝日町産業創造協議会の運営
- ②参加者やそれぞれの活動を現場でつなぐ産業開発機構（実践部隊）の設置と経営
- 知恵と技を自ら磨く組織づくり
- ①特色に合わせて仲間同士で切磋できる部会づくり
- ②専門家のアドバイスによるフォローアップ
- ③研修・訓練センターの設置
- 事業の中核となる人材養成及び経営の基礎を学ぶ研修
- ①知識研修（経営手法、マーケティング、商品企画など）
- 食品などの製造加工及び見せる・売る技術を習得する研修
- ①知識研修（販路拡大、生産管理など）
- ②技術研修（食品加工、農業資材づくり、インターネット

- プロジェクトへの参加や応援団の募集、起業等の相談や支援情報の総合窓口設置（役場内）
- 都市部でのＩＵターンフェアの開催（同時にプロジェクト参加者募集）
- 協議会独自のホームページ開設やチラシなど、広報媒体を活用したPR

しかし、人づくりだけでは、新たな産業起こしや雇用機会が増えるとは限りません。そのほかに、協議会独自の支援策として、起業や事業の多角化、そして新たな産業創造への取り組みに対し、総合的な相談と支援内容を調整する仕組みを作り上げていきます。更に、町民が一人となって新しい産業づくりに取り組む人・

## 平成17年度の研修・訓練内容





## 特集●動き出す起業支援と技術者養成

### 起業支援で新たな雇用の創出と 活力ある地域の再生をめざして…

企業・団体を応援し、有利な融資制度など、具体的に支援する取り組みが行われます。このように、パッケージ事業と協議会独自の支援策が合わさり、みんなが一緒になって、この町にある「自慢の資源」と「眠っている素材」に磨きをかけるのが「平成のR

#### 朝日町平成のRINGOプロジェクト

- R**ich(リッチ) 豊かさ
- I**dentify(アイデンティティ) 個性・独自性
- N**atural(ナチュラル) 自然・天然
- G**ood(グッド) 上等な・優れた
- O**rganic(オーガニック) 有機栽培

頭文字が醸し出すあなたのイメージは…

INGOプロジェクト」です。十月末日まで、第一弾のプロジェクト参加者を募集しています。「自慢のりんごで、もっと所得を増やしたい」「自慢の作物をもっとみんなに知って、買ってもらいたい」「食べやすいような加工技術を習得したい」等々、思いは色々あると思います。自分に合ったプロジェクトの活用を知るためにも、ぜひ窓口までお越しください。

また、このプロジェクトでは、起業をめざす人、「食」をキーワードに食品加工や農業資材づくり、そして活用を考える人、またそれを、提案やアイデアで支える応援団を広く募集します。

十月一日に開設した協議会のホームページに、あるりんご農家の方からメールが届いていました。ここで紹介します。

「RINGOプロジェクトを知り、興味深く拝見しました。なんか面白そうですね。鈴木町長の心意気が伝わってきそうです。一農業者として周りの農地が荒れ果ててくるのを目の当たりにし、忍びないものがあります。このプロジェクトで町外からの転入者が増え、町に活気が戻るのを望んでいるのは私だけではないはず。プロジェクトが大いに盛り上がることを期待するとともに、絶大の支援をしたいと思います」

このような思いは、ほかにもっとたくさんあるはずです。なお「広報あさひまち」では、次号から毎月、町政スポットの一部に「プロジェクトの今」に関する内容を掲載し、皆さんの思いをみんなで形にしていこう過程を紹介していきます。どうぞご期待ください。

朝日町産業創造協議会

(朝日町役場政策推進課内)

☎023716712120

(FAX兼用)

#### 企業経営に必要なのは 人の痛みがわかる心を持つこと



朝日町を離れ今年で50年。会社を創立して8月で38期が過ぎた経験の中で、何が経営に必要なか。また、それが町おこしにどの程度参考になるか。全国の市町村がこぞって町おこしにやっきとなっている現状をどのように把握し、理解し、行動をしていくのか等々、一時的な発想ではなく長期的な視点にたった戦略でなければ、努力のみを重ねても水泡に帰す恐れがあります。1年や2年でできることでもありません。

昨年、あるユーザーからユニフォームの受注をいただきました。社員数人の会社が、社員4,000人規模の一流の上場企業から直接受注することなど想像もできないのが、こ

の業界の常識とされている中、なぜ…？理由はいくつかあると思います。プレゼンテーションが良かったから。デザイン・サンプル等々、その会社のイメージに合ったこともあるでしょう。

しかし第一は、ユーザー様との約30年の個人的なお付き合いを続けてきた結果だと信じています。人の心を大事に。そして、人の痛みがわかる心を持つこと。何のノウハウもない私が、これまで生き抜いてきた教訓の一つです。

「我笛吹けども君は踊らず」では何をしても無駄だと思います。要するに、行政と町民のみなさんが同じ目線で話し合い協力を重ね、お互いに心の痛みを分かち合いながら進んでいけば、必ず光明が見えてくると思います。

友井商事株式会社（東京都中央区日本橋）

代表取締役会長 大井 尚 武

ホームページアドレス

<http://www.asahi-ringo.net/>

メールアドレス

[pr@asahi-ringo.net](mailto:pr@asahi-ringo.net)

携帯電話1モ一

ドからは、下の

QRコードをこ

利用ください。



# 定例議会

9月定例議会が15日から8日間の日程で開かれ、「林道伏辺山線の災害復旧費や町道滝ノ沢線舗装工事費」「介護保険法の改正に伴うシステム更新費」など、歳入歳出それぞれに5,940万円を追加し、平成17年度予算総額42億6,910万円とする一般会計補正予算など20議案が審議、可決・承認されました。議案の採決事項は次のとおりです。

①朝日町教育委員会の委員に安藤昭郎氏（西町）を新たに任命する。  
【同意】

②朝日町固定資産評価審査委員会の委員に小野隆弘氏（大谷六）を新たに任命する。  
【同意】

⑨老人保健特別会計決算  
⑩介護保険特別会計決算  
⑪病院事業会計決算  
⑫水道事業会計決算  
以上⑥から⑫までの平成16年度朝日町各会計決算について。  
【全て認定】

③平成17年度朝日町一般会計の歳入歳出それぞれに、第44回衆議院議員総選挙に要する経費一千三十万円を追加補正したこと。  
【承認】

④平成17年度朝日町一般会計補正予算について、歳入歳出それぞれに五千九百四十万円を追加し、予算総額四十二億六千九百十万円とする。  
【原案可決】

⑤平成17年度朝日町介護保険特別会計補正予算について、歳入歳出それぞれに三千四百万円を追加し、予算総額七億三千五百十万円とする。  
【原案可決】

⑬犯罪や事故を未然に防止し、安全で住みよい地域社会の実現に向けた、朝日町生活安全推進条例の設定について。  
【原案可決】

⑭朝日町消防団の実団員数の減少に伴う、朝日町消防団条例の一部を改正する条例の設定について。  
【原案可決】

⑥一般会計決算  
⑦集落排水事業特別会計決算  
⑧国民健康保険特別会計決算

⑮今年七月の庄内町、十月の新鶴岡市、十一月の新酒田市誕生に伴う、山形県自治会館管理組合規約の変更。  
【原案可決】

## 町政報告

■前年度比1・4%増の普通交付税

平成17年度の地方交付税（普通交付税）は、二十一億

四千三百七十二万三千円。前年度対比で二千九百七十四万四千円の増。

■迅速に対応「アスベスト問題」

公共施設について、設計書及び目視等による調査や、必

速に対処していく。

■常盤地区で総合防災訓練

防災の要である消防団や地

が、同組合に加入していない酒田市との合併で同組合を脱退することに伴う、同組合規約の変更。  
【原案可決】

⑰今年七月の庄内町、十月の新鶴岡市、十一月の新酒田市誕生に伴う、山形県消防補償等組合規約の変更。  
【原案可決】

⑱町道路線（和合栗木沢線）の新たな認定について。  
【原案可決】

⑲道路整備の財源となる道路特定財源制度の堅持に関する意見書の提出について。  
【原案可決】

⑳旧大谷小学校跡地利用に関する請願について  
【採択】

域住民とともに訓練を展開。有事の際の対応を学んだ。

■行財政改革の一環で職員の時差勤務制度を試行中

第三次行財政改革大綱に基づき、行財政改革案をまとめている。時間外勤務手当の削減を目的に「職員の時差勤務制度」を、来年三月三十一日までの期間で試行中。町民の有識者からなる「行

財政改革推進審議会」を十月頃に開催の予定。検討された事項について意見をうかがう。  
■定住・結婚対策として二つのプロジェクトが始動

若者サークル「朝日の元氣プロジェクト」と、結婚対策に関する「結婚対策推進協議会（ハッピープランミーティング）」を立ち上げた。

■地域情報化アンケートの調査結果まとまる

回収率76%。この結果をもとに、今後の地域情報化施策を推進していく。

■町づくりに生かすための広聴活動を充実

町政座談会「町長と語ろう」を八月末で二十回実施。自立をめざすまちづくりに向けた率直な意見や課題をいただいている。今後の町政運営に生かしていきたい。

十三人のメンバーで発足した「朝日町女性井戸端会議」。協働による町づくりに向けて、女性の視点と感覚による意見に期待が寄せられる。

■地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）が始動

内閣総理大臣から認定を受けた、朝日町が提案した「地



## ◎寄付採納報告

●大谷小学校に金員100万円

和田きゑさん（山形市幸町在住）から



域再生計画」。これを受けて、地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）の具体的な実施に向けた「朝日町産業創造協議会」を設立。成果評価を受けながらの三カ年の継続事業で、事業費の総額は約一億八百万円。内容は人材育成のソフト事業のみであり、その成果として三年間で新規雇用八十四人が見込まれる。

■**前年度比6・6%増の町民税**  
本年度の町民税は、一億四千四百五十二千円。本年度第一期の口座振替分の収納率は、固定資産税95・5%、軽自動車税95・7%、町県民税94・0%、国保税92・7%で、昨年度同期とほぼ同じ状況。未納分の徴収に努力する。

### ■**家屋の全棟調査を実施**

地理情報システムを整備するため、家屋（約八千棟）の全棟調査を実施。

### ■**乳幼児医療費の完全無料化を実施**

子育て支援の一環として、乳幼児医療費の完全無料化を実施。これまで所得制限により助成を受けられなかった方や一部負担があった方の自己負担分を、町が独自に助成するもの。八月十五日現在、町単独事業に該当した乳幼児は二百二十七人。

### ■**糖尿病予防モデル事業を実施**

健康づくり活動の推進として県内で唯一、町と町立病院・国保連合会が連携し糖尿病予防モデル事業を実施。糖尿病予備軍である十六人を募り今年度から三年間、生活習慣の改善に向けた朝日町糖尿病予防教室「からだすっきりセミナー」を開講する。

### ■**生育状況が心配されたりんご 平年並みに回復**

融雪の遅れにより開花時期が遅れた基幹作物のりんご。その後の天候が順調に推移し、平年並みに回復している。しかし、早生種のつがるは春先の降霜の影響でさび果の発生

が多くなっている。統一販売を行っているシナノすいとうとは、順調に増加。本年は一万箱を上回る予定。

### ■**りんごの台湾輸出を拡大**

昨年の課題を踏まえ、台湾への輸出货量を拡大する方向で準備を進めている。

### ■**堆肥センター順調に稼働**

「特別栽培米」及び「土づくり安心米」の推進として、20ヘクタール（量にして二〇〇トン）に堆肥センターで生産された堆肥を散布。生育においても順調に推移している。

### ■**八月二十日の豪雨で町内四箇所で災害発生**

受益者と協議し、今後復旧工事を進めていく。

### ■**旧サンライズ跡地に新企業進出**

旧サンライズ跡地に山形市北町の東亜メッキ㈱の誘致を進めてきた。地元地区民の理解も得られ、前地権者との契約、融資関係も整い、正式に進出が決定した。今後、工場の建設に着工。来年の三月に操業を開始する予定となっている。

### ■**朝日自然観の経営診断を実施**

山形県企業振興公社の専門家派遣事業による中小企業診

断士の派遣を受け、経営診断を行っている。

### ■**町長自らが町をPR**

誘客宣伝活動として、町長自らがトップセールスマンとなり、仙台市内のマスコミ、エージェント（店舗や人）、ホテル等を訪問。朝日自然観を始め、町の観光資源、物産等のPRを行ってきた。

### ■**町立病院の医療機器を更新**

多項目自動血球分析装置の更新整備を行い、これまで以上に迅速に、より精度の高い検査ができるようになった。

### ■**学校施設の二工事が終了**

西五百川小学校体育館屋根改修と朝日中学校体育館照明改修の二工事は、それぞれ順調に進捗し、期限どおりの完了をみている。

### ■**新ALTが着任**

これまで臨時で対応していたALT（外国語指導助手）。アメリカ合衆国オレゴン州出身のハート・トリニティさんが新たに着任。

### ■**豊龍神社大スギの保護増殖事業が終了**

山形県天然記念物の指定を受けている、豊龍神社大スギの保護増殖事業を昨年度からの継続事業として実施。六月



更新された多項目自動血球分析装置（町立病院）

末日に終了した。

■**大沼浮嶋稲荷神社の俳額が町の文化財に指定**

これまで文化財保護委員会で調査及び検討していただいた結果、歴史的、学術的にもたいへん価値のある物件であるとの報告があり、七月の教育委員会定例会で町の有形文化財として正式に指定した。

■**青少年健全育成町民大会を開催**

大会スローガンである『大人の意識改革！』あいさつは大人から』を実践し、あらゆる場において「あいさつ運動」を積極的に行うことを宣言した。



## 交通安全町民大会 (9月20日／創遊館)

町交通安全推進協議会（会長＝鈴木町長）主催の町交通安全町民大会が9月20日、創遊館ホールで開催されました。

開会に先立ち、町内保育園かもしかクラブの園児たちが、ステージ上で「ストップの約束」を元気に披露。その後、交通事故で犠牲になった方に全員で黙とうを捧げました。

また、これまで交通安全活動に功績のあった白田勇記さん（大谷六）と鈴木かつ子さん（松程）両名が、交通安全功労者として表彰。最後に、交通事故撲滅に努める大会宣言を満場一致で決議し、大会は閉幕しました。



## 地域情報化「最終報告」 (9月30日／創遊館)

東北管内初の試みとして5月から開催されていた、朝日町をモデルとする地域情報化検討会（国、医療・通信関係者など9名）の最終会議が9月30日に開かれ、座長の長谷川高志東北大学助教授から町長に対し、「朝日町ブロードバンド計画書」が提出されました。

計画書では、情報格差を解消するために、地域公共ネットワークを核として、町と通信事業者が協力しながら光ファイバー網を町全域に整備し、医療・保健・福祉分野、防災などでの利活用、さらには地上デジタル放送や携帯電話不感地域への対応などを提言しています。

これを受けて町長は、「この貴重な計画書をもとに、地域情報化を着実に進めたい」と抱負を語りました。



## 人権啓発・心のふれあい講演会 (9月20日／創遊館)

元NHKアナウンサーで、のど自慢、連想ゲーム、昼のプレゼント等の司会でお馴染みの吉川精一氏を迎えて、人権啓発・心のふれあい講演会が9月20日、創遊館で開催されました。会場に詰めかけた町民らは約350人。

「人生いつもありがとう」という演題で講演した吉川氏は、「人生には『3つのとおり（＝①思いどおり②思い不どおり③思いがけないとおり）』がある。つらい時や思い不どおりの時こそ、いかに生きるかが大切です」と、これまでの経験をもとに熱く語りました。

「小さい頃からの夢でした」と、歌手へと華麗に変身した吉川氏。会場からは盛んな声援が送られていました。当日は、人権擁護委員による啓発活動も行われました。



## 町消防団部長研修 (9月16日／新潟県川口町)

防災意識の高揚を図ろうと9月16日、柴田七郎兵衛団長ほか町消防団の各部長ら14人が、新潟県川口町を訪れました。川口町と言えば、昨年の10月23日に発生し甚大な被害をもたらした新潟中越地震の震源地に近い自治体。付近の高速道路や一般道では、発生から11ヵ月が経過する今なお、波打つ路面の補修工事が行われていたほか、仮設住宅にも空き部屋がない状況。完全な復興までにはまだ時間がかかる様子でした。

実際に被災者の救出活動等に当たった地元の消防団員は、「こんな平和な町が突如として廃墟と化した。こんな時、地域は地域でまとまること。その際にリーダーシップをとり得るのは消防団員である」と語りました。





## 大沼浮嶋稲荷神社の俳額（寶歴元年奉納額） 町の有形文化財に指定（7月25日／町教育委員会定例会）

大沼浮嶋稲荷神社の俳額（寶歴元年（＝1751年）奉納額）一面が、このたび町指定の有形文化財に指定されました。所有者は、大沼浮嶋稲荷神社宮司の最上俊一郎さん。旧三申分校校舎（本棟）が同様に有形文化財として指定されてから約8年半。国・県指定の文化財を含めて、町内ではこれで30件目の指定となります。

縦47.5センチ（内寸37.0センチ）、横187.5センチ（内寸178.0センチ）、厚み4.0センチ（本体2.8センチ）の俳額で、和歌の宗匠（当時の全国に名だたる師匠）らが神に捧げるために詠んだ連歌（何人かが同席し、長句「5・7・5」と短句「7・7」を逐次読み続けていく形式の文学）4句と、地元山形の俳人らが詠んだ「5・7・5形式」の俳句13句が、秋冬それぞれの季節ごとに刻字填色（刻まれた文字の上に顔料が塗られている）されています。

製作されてから250年が経過する現在に至っても、文字が明瞭で痛みも少ないことから、歴史的価値が高いこと。全国の有名な俳人が句を寄せていることから、奉納者である大沼大行院別当第18世の雄英（俳号で鸞窓）は、全国的な水準の俳人であったことが明らかで、学術的価値も高いこと。刻まれた文字に白色が埋められ極めて美しく、刻字にしては少しも硬いところがなく流麗。縁のづくりも丁寧で、元は非常に美しいものだったことが推測されることから、美術的価値も高いこと。そして、町ではもっとも古い物件であること。

以上のような理由から、町文化財保護委員会（今野優委員長）が、町にとって後世代伝承に関わる重要な民俗資料であると認定。7月25日に開催された町教育委員会定例会で、正式に町指定文化財として決定がなされました。

## 人事異動

**退職者**（9月30日付け）  
税務町民課  
課長補佐兼生活環境係長  
今野 幸昭

**異動**（10月1日付け）  
税務町民課  
生活環境係長  
鈴木 良浩  
（建設水道課水道係主任）

## 完全禁煙にご協力を！

10月1日から、役場庁舎内及び開発センター内が完全禁煙となりました。ご理解とご協力をお願いいたします。



## 新教育委員に安藤昭郎氏 委員長職務代理者には登坂高典氏

これまで2期半（10年）の長きにわたり、町の教育委員として教育行政に尽力なされた長岡一美氏（前田沢）の後任として、10月1日付けで安藤昭郎氏（西町＝上写真）が任命されました。また同日付けで、登坂高典氏（八ツ沼）が委員長職務代理者に就任しました。

安藤氏は、山形大学教育学部を卒業後、昭和45年4月に水本小学校教諭として奉職。その後、西村山教育事務所指導課長、和合小学校教頭、西五百川小学校長、大谷小学校長などを歴任し、3年間勤務した宮宿小学校長を最後に平成17年3月に退職されました。

安藤氏は、「節約とか礼儀作法、親孝行といった日本古来の美德は、回復できないのでしょうか。皆様からのご助言をいただきながら頑張ります」と抱負を語ってくれました。

連載している「町長歳時記」ですが、定例議会開催の次の月（7・10・1・4月）発行の広報紙に、紙面の都合上、休ませていただきます。



名物ダチョウのソテーには  
長い行列ができていた



結果に満足 ぶどう踏み競争 フォー！



朝日町の秋の恵みに カンパニー！

## 第26回ワインまつり

■今年で二十六回目を迎える朝日町ワインまつりが九月二十三日、上郷ダム公園で賑やかに開催されました。会場には約千四百人が詰めかけ、冷たく冷えたワインや町産牛豚肉のバーベキューなど、朝日町特有の秋の味覚を堪能していました。

この日用意されたワインは、赤・白・ロゼ合わせて一、四〇〇リットル。バーベキュー用の牛豚肉は五三〇キログラム。限定サービスのダチョウの煮込みなべやソテーには、ワイン片手に長蛇の列ができるほどでした。

毎年、このワインまつりのファンを募り大型バスで駆け付けているという渡辺たつ子さん(山形市)。



まつり終了後もバスを待つ列は上機嫌

■ワイン城で十月二日、オーナーワインの収穫祭が行われました。自らが葡萄の木オーナーとなり、その葡萄からつくられる独自のワインを楽しんでもらう「オーナー制」が設けられて今年で十二年目になります。

あいにく小雨模様となったものの、県内外から家族連れなど約三百四十人が参加。たわわに実った葡萄を優しく

## 町民駅伝競走大会

爽快な秋晴れの下、第二十二回アップル町民駅伝競走大会が十月九日、十二チームの出場で開催。創遊館前をスタート・ゴールする十一区間(24・9キロ)のコースで健脚を競いました。



号砲とともに12人のランナーが一斉にスタートした



今年も単独でチームを編成「チーム前田沢05」



熱い声援が送られる(明鏡荘前)



本大会出場者で最高齢  
66歳の関口俊邦さん(緑町)



ほぼ同時のタスキリレー勝ったのはどっち？







たくさん収穫できたみたいだね

## 葡萄の木オーナーワイン制度 収穫祭



手にしながら、茎の根本にハサミを入れていました。  
収穫の後は、芋煮や炊き込みご飯なども振る舞われたバーベキューパーティー。心ゆくまで朝日町の秋の味覚を楽しんでいました。  
職場の上司の紹介と町のホームページでこの企画を知ったという石川秀樹さん（群馬県前橋市）。



自然と笑みがこぼれます



ちょうどいい焼き具合



朝日町ワイン 最高！

「ワインが好きなので、すごく興味がありました。オーナーなんて恰好いいイメージ。子どもも収穫の体験ができて、とてもいい企画だと思います」と、初めて参加した感想を語ってくれました。



優勝した三中チームのメンバーたち みんな素敵な笑顔だ！



ガッツポーズでゴールする  
峰田飛雄馬選手（三中）

## 第22回アップル

それぞれの思いを胸に、総勢百三十二人がチームのタスキをつないだ結果、終始高位置をキープし中盤から独走態勢を築いた三市チーム（阿部正昭監督）が、二年連続となる五回目の優勝を果たしました。



### ●総合順位

| 順位 | チーム名     | 監督名（集落名）   | 所要時間      |
|----|----------|------------|-----------|
| 1  | 三中       | 阿部 正昭（ハツ沼） | 1時間36分26秒 |
| 2  | 上郷       | 柴田 実（宇津野）  | 1時間38分05秒 |
| 3  | 和合水上     | 菅井 道也（沼向）  | 1時間39分28秒 |
| 4  | 宮宿 A     | 菅井 信彦（大町）  | 1時間39分39秒 |
| 5  | チーム前田沢05 | 渡辺 良（前田沢）  | 1時間40分39秒 |
| 6  | 中沢・玉ノ井   | 五十嵐修一（栗木沢） | 1時間41分11秒 |
| 7  | 大谷風神     | 志藤 正利（大谷六） | 1時間42分42秒 |
| 8  | 松程       | 鈴木 敏広（松程）  | 1時間45分06秒 |
| 9  | 和合山の神    | 菅井 正彦（沼向）  | 1時間47分46秒 |
| 10 | 常盤       | 阿部 春樹（常盤）  | 1時間47分54秒 |
| 11 | 沢内       | 渡辺 勝（古楨）   | 1時間52分40秒 |
| 12 | 宮宿 B     | 阿部 啓一（西原）  | 1時間53分27秒 |

### ●区間優勝者

| 区間   | 氏名（集落名）    | 記録     | チーム名   |
|------|------------|--------|--------|
| 第1区  | 登坂 高堂（ハツ沼） | 6分40秒  | 三中     |
| 第2区  | 志藤 雄人（川通）  | 11分56秒 | 中沢・玉ノ井 |
| 第3区  | 海野 宏行（送橋）  | 8分20秒  | 沢内     |
| 第4区  | 鈴木 智美（常盤）  | 5分43秒  | 常盤     |
| 第5区  | 佐竹 美咲（ハツ沼） | 5分14秒  | 三中     |
| 第6区  | 菅井 拓人（大町）  | 11分15秒 | 宮宿 A   |
| 第7区  | 鈴木 幸喜（高田）  | 10分29秒 | 三中     |
| 第8区  | 菅井 道也（沼向）  | 5分22秒  | 和合水上   |
| 第9区  | 海野 雄大（能中）  | 5分08秒  | 三中     |
| 第10区 | 渡辺 一輝（宇津野） | 10分14秒 | 上郷     |
| 第11区 | 安藤 秀也（松原）  | 11分49秒 | 上郷     |



シナノすい〜と美味しいね  
(10月6日)

# まちの話題



人権マスコット『人KENあゆみちゃん』  
とたわむれる園児たち(9月20日)

## ①わくわくドキドキ人形劇まつり(10月2日／創遊館)



### 夢の空間へと導く人形劇

わくわくドキドキ人形劇まつりが10月2日、創遊館で開催され、会場に詰めかけた子どもたちを夢の

空間へと導きました。

地元の人形劇サークル「おはなし会ぶなの実(西澤敬子代表)」を初め、平成14年開催のプレ国民文化祭からサポートをいただいている県内のサークル5団体の合わせて6話が上演されました。

国民文化祭開催後2回目となる今年も、会場設営から運営までのほとんどを参加団体自らがやりこなすという徹底振り。昨年誕生した「ぶなの実キッズ」も会場係としてお手伝いし、各会場に花を添えていました。

会場に訪れた親子連れは約250人。和室とワークルールの2箇所を行き来しながら、夢や笑いのある人形劇を心ゆくまで楽しんでいました。

## ③北部地区レクリエーション大会 (9月18日／秋葉山交遊館周辺)



### スポーツの秋 総勢500人が集う

地区民の親睦を深めようと北部地区レクリエーション大会が9月18日、秋葉山交遊館周辺を会場に開催されました。地区内の老若男女約500人が参加。グラウンド・ゴルフとソフトボール、ビーチバレーボールの3競技に熱戦を繰り広げました。

当地区にとっては、オリンピックイヤーである4年に1度開催していたレクリエーション大会(＝北リンピック)。しかし、昨年開催された北リンピックに次ぐ今年は、これまで毎年行われてきたソフトボール大会とビーチバレーボール大会を、グラウンド・ゴルフと併せて開催できないものかと、地区民らの強い要望があって実現。爽やかな風が吹く中で各会場とも熱気に満ちあふれ、参加者らはスポーツの秋を思い存分楽しんでいました。

## ②電動車椅子利用者交通安全教室 (9月28日／秋葉山交遊館)



### しっかり止まってはっきり確認

秋の交通安全県民運動期間中の9月28日、秋葉山交遊館で電動車椅子利用者による交通安全教室が行われました。寒河江地区交通安全協会大谷支部(小野隆弘支部長)と寒河江警察署との共催で実施したもので、北部地区内の電動車椅子利用者9人が参加しました。

道路交通法上、歩行者扱いとなる電動車椅子。高齢化とともに所有者も増加し、この10年間で交通事故に巻き込まれる件数が3倍に増えているとのこと。

「一般歩行者との決定的な違いは、動きが小さいため車の運転手から見えにくいということ」と語った同警察署交通課の吉田輝夫指導係長。前後左右の安全確認を呼びかけ、「横断中の動きがよく見えるように」と参加者には黄色の横断旗が贈られました。



#### ④第15回町長寿クラブウォークラリー大会(9月22日／大谷地内)



### 大谷の神社仏閣を巡る

町長寿クラブ連合会(鈴木治郎会長)主催のねんりんピック「ウォークラリー大会」が9月22日、大谷地区を会場に開催されました。郷土を探訪しながら、健康づくりと会員相互の親睦を深めるため毎年

開催しているもので、町内各地区から41チーム(1チーム3人編成)が参加しました。

ゲートボールと輪投げ2種目によるスポーツコーナー。指定された3カ所のポイントを巡り、観察してきた内容を書き留めてきてゴールした後質問に答えるチェックポイント問題、交通ルールを確認するための交通問題、そして、あらかじめ設定された時間を基準に所要時間を競い合い、これらの総合得点で順位を争います。

秋葉山交遊館をスタートした各班は、それぞれのチェックポイントで「梅の木が3本立っているね」「2間半と1間半の間取りの神社だね」「石像には〇〇と書いてあるね」などと問題を想定しながら、メモを取るなどしていました。

その結果、中郷A(=大町／渡辺藤夫・清野まさ・柴田とし子)チームが優勝しました。2位にはスマイルB(=大谷五／斎藤小次郎・長岡ユキ子・川村一子)、3位には西町レディース(鈴木たか・長岡俊枝・若松久子)が入りました。

#### ⑥今年も国道沿いにみどりの駅設置

(10月1日～)

### 同志で石釜を設置

和合のりんご生産者らが集まって、今年も国道沿いに直売所「みどりの駅」がオープンしました。

今回の目玉は、道路沿いに石釜まで作ってしまったこと。9月23日には火入れ式を行い、特製のパイなどを焼き上げました。「りんごもぎと併せてぜひ体験してほしいです」と代表の菅井正人さん(沼向)は話しています。



#### ⑤JAさがえ西村山から枝豆進呈

(9月28、30日／町内全小学校)



### 地産地消 地元産農産物を理解

さがえ西村山農業協同組合(今田正夫代表理事組合長)のはからいで9月28日、町内全ての小学校に採れたばかりの枝豆が贈られました。地産地消運動の一環として、生産に力を注いでいる地元産の枝豆について理解を深めてもらう意味もあります。

宮宿小学校(小林道和校長)のこの日の昼食の献立は、ジャージャー麺と蒸し卵、フルーツサラダに牛乳。そして、トレイの上にゆで上げられたひとつまみの枝豆が添えられました。3年の阿部由良くん(緑町)は、「塩の味が付いていてとてもおいしいです」と笑顔で語ってくれました。この日はほかに大谷小学校で、30日には西五百川小学校と和合小学校でそれぞれ振る舞われました。

#### ⑦水路にどじょうを放流

(9月7日／旧大谷小学校跡水路)

### 身近な所で清流を取り戻そう

わかば保育園の園児たちが9月7日、旧大谷小学校敷地内を流れる水路にどじょうを放流しました。

生き物の住む清流を取り戻そうと、準備をしてくれた白田徳夫さん(大谷六)の指導のもと、バケツから優しく放流しました。



## ⑨那須大谷開拓60周年記念式典 (10月9日／栃木県那須大谷)



### 角田流大谷獅子踊を奉納

旧大谷村などから満州に渡り、戦後の昭和21年12月、新農村建設のため約120人の村民が那須の原野に入植。厳しい条件のもとで開拓が始まってから、今年で節目となる60年目(数え年)を迎えます。初代開拓者の労をねぎらう記念式典が10月9日、栃木県那須大谷のふるさと広場で開催されました。

式典には、県指定無形民俗文化財である「角田流大谷獅子踊」の保存会(会長＝白田進大谷連合区長)のみなさんが招待され、那須大谷白山神社境内で獅子踊を奉納。周囲から盛んな拍手が送られました。

## ⑪朝日中吹奏楽部ミニコンサート (9月17日／創遊館)



### 心に響く全13曲を披露

朝日中学校吹奏楽部による第9回ミニコンサートが9月17日、約200名の観客が集まった創遊館ホールで開催されました。このメンバーで演奏するのは、3年生にとってこれが最後となります。

3年連続で山形県吹奏楽コンクールに出場。その時演奏した「A HUNTINGDON CELEBRATION」や、昨年度行なわれた村山地区アンサンブルコンテストに出場した曲目、ピンクレディー・メドレーやケツメイシのさくらなど、心に響く全13曲を精一杯演奏しました。リズム感あふれる音楽が会場いっぱいに響き渡り、観客からは惜しめない拍手が鳴り続けました。

## ⑧海の子山の子交流「山の集い」 (10月8日／世界のりんご園ほか)



### 本場の山形芋煮に舌鼓

宮城県七ヶ浜町立亦楽<sup>えきらく</sup>小学校の児童たちが10月8日当町を訪れ、世界のりんご園散策やダチョウ園を見学。地元の子どもたちと交流を深めました。

今年で4年目(7回目)の開催となる「海の子山の子交流事業」。山の子が海の子に会いに行く「海の集い」が今年7月に開催され、広報あさひまち8月号でも紹介しました。今回は、海の子が山の子に会いに来る「山の集い」。参加者たちは、お昼に合わせて本場「山形芋煮」にもチャレンジし、秋の味覚を思う存分堪能していました。

## ⑩町内の小学校で芸術鑑賞教室 (9月22日／創遊館)

### 宮沢賢治の童話の世界へ

町内小学校の芸術鑑賞教室が9月22日、創遊館ホールで開催されました。毎年、演劇と演奏を交互に観賞しているこの教室。今年は、東京に事務所を構える劇団「野ばら」による児童劇の観賞で、宮沢賢治の名作童話「どんぐりと山猫」と「セロ弾きのゴーシュ」の2話が上演されました。「童話を原文通りに演じるのが得り」というこの劇団は、年間200回ほど全国各地で公演している実力のある劇団。児童劇というだけに、原文の難しい言葉は分かりやすく演じることで表現しているとのことでした。

大谷小6年の村山瑞貴(大谷七)さんは、「ナレーションもあってお話の内容が分かりやすく楽しかった。物語の中に引き込まれたようでした」と感想を述べました。







## ぶどう収穫作業を体験

朝日中3年生とその保護者らによる「ぶどう収穫体験会」が10月2日、ワイン城に隣接するぶどう畑で行われました。地元産ワインへの関心を若いうちから高めてもらおうと、3年生の学年行事として4年前から続いている恒例の企画です。

この日収穫されたのは、高級赤ワインとして名を馳せるフランス原産のメルロー種2トンと、ドイツ原産のミュラートルガー(白ワイン)種1トン。収穫され仕込まれたぶどうは、5年後に迎える成人式まで専用樽の中でゆっくりと熟成され、オリジナルラベルのワインとして贈られます。

あいにく雨の中での作業となったものの、佐竹和人くん(栗木沢)は、「たいへんだけど楽しい。5年後の成人式が楽しみです」と嬉しそうに語ってくれました。

## イラク復興支援活動から得た教訓

現地でイラクの復興支援を遂行してきた自衛官を講師に招き10月2日、開発センターホールで講演会が行われました。朝日中2年生とその保護者約170人が参加。「サマワで見たもの、成し遂げた事」という演題で、防衛庁自衛隊第6施設大隊第2中隊の沖津正俊中隊長が講演しました。

沖津氏は「混乱するイラク情勢の中で必要だったことは、まず現地の人たちから信頼と理解を得ることだった」と語り、現地の人たちから始めて協力が得られた時のうれしかったこと、実際の復興支援活動における体験から得た教訓などを分かり易く伝えました。その教訓とは、「一人では乗り越えられないことも、家族や仲間がいれば乗り越えられる。自分にとってどんなにきつい時でも笑顔をつくる。笑顔や笑いがある時はパワーがあり、笑顔があれば未来がある」ということでした。

最後に、「戦争で荒廃した土地を見たことで、日本の美しさを改めて感じた。ふるさとの朝日町、山形県、そして、最も身近にいる家族のことを大切に思っしてほしい」と熱く語りました。



## ⑭保育のこともっと知ってみよう講座 (8月29日～10月3日／さゆり保育園・創遊館)

### 幼児を理解する初めての試み

4回シリーズで開催された「保育のこともっと知ってみよう講座」の最終日。受講生15人に町中央公民館長から修了証が手渡されました。

この講座は、中学生ボランティアサークル「きらり」で活動する生徒たちが、幼児の成長や年齢毎の特徴、幼児との遊び方などについて、実際にやってみながら学んでいこうとするプログラム。幼児のことを理解するための講話と、絵本や紙芝居の読み聞かせ方、手遊びの方法などによる実技が展開されました。参加者たちは、「今後に生かしたい!」と意気込んでいました。



## ⑬shinanoすい～ともぎとり現地交流会 (10月6日／舟渡の遠藤邦昭氏のりんご園地)



### 皮ごとペロリ 安心安全の証

中生種のりんごとして有望視されている「シナノすい～と」もぎとり現地交流会が、初出荷直前の10月6日、舟渡の園地で開催されました。

わかば保育園の園児や消費者団体など約60人が参加し、淡く色づいた果実を収穫。その後、皮ごと口にした園児たち。その笑顔は、安心安全の証です。

# みんな の ひろば



## 地域の文化振興に貢献 齋藤茂吉文化賞を受賞



阿部 宗一郎 さん  
(82歳/常 盤)

阿部さんは、大正十二年生まれ。十六歳で太平洋戦争に従軍し、終戦後も捕虜としてしばらくの間シベリア抑留を経験されました。帰国後は、町民が冬季間、町外へ出稼ぎに行かざるを得ない状況に憂慮し、雇用対策として昭和四十五年「朝日相扶製作所」を設立。国内を始め、海外からも脚光を浴びる企業へと育て上げました。

その間、産業・経済・文化と多岐に渡り活躍。県内町村で最初となる朝日町芸術文化協議会を設立。現代の子どもたちから活字に親しんでもらおうと、西五百川小学校（統合前の立木小を含む）への本の寄贈（「宗生文庫」）。また、日本語の美しい響きを理解してほしいと「ひめさゆり俳句大会」を、町内の小中学生を対象に開催しています。

これらの実績に加え、詩で

## 今 輝いて

ありながら俳句を重ね合わせるという、これまでになかった独自の形式を作り上げたこと。また、現代社会の世相を阿部さん独自の斬新な表現で書き上げた「神ニモマケズ」が高い評価を得、今回の名譽ある齋藤茂吉文化賞の受賞となりました。

「率直にありがたいと感じています。しかし、賞をもらった喜びよりも感慨深いのは、朝日町のような中山間地域に住んでいても、このような立派な賞を受賞できるということとを証明できたこと。今回の受賞をとおして、町民の皆さんが少しでもこの町に対して誇りを持ってくれたら嬉しいですね」と、受賞についての感想を語ってくれました。

阿部さんの活動の原点は、「自分の住む町が幸せになら

### ＝齋藤茂吉文化賞＝

芸術・学術等の山形県文化の向上における功績が顕著な個人または団体に贈られるもので、茂吉翁の偉業を偲び昭和30年に創設。

生活教育の実践で、戦後の民主教育に新分野を築いた無着成恭が、芸術（文学）部門で記念すべき第1回の受賞者。



全校児童の感謝の手紙を手渡す  
西五百川小児童会計画委員長の  
阿部茜さん(右)と同副委員長の白  
川達郎くん(中央)

ずに、私一人が幸せになれるはずがない」という宮沢賢治流の思想。その上で「人生の幸福には、経済面での物質的な豊かさのほか、心の豊かさも不可欠」と語り、本や文学に触れることの重要性を改めて指摘しています。

今年で八十二歳になる阿部さん。「人に伝えたいものがある。相手に感動を味わってもらいたい！」その思いが、今この瞬間も阿部さんを、新たな作品執筆へと駆り立てています。

## 各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第21回町高齢者ゲートボール大会  
(9月28日/緑ヶ丘公園グラウンド)

- ①助ノ巻 (代表〓柴田精司)
- ②真 中 (代表〓阿部春雄)
- ③新 宿 (代表〓熊谷小三郎)

■西村山地区中体連新人戦  
(9月24～25日)

- ▽バスケットボール ①朝日中女子
- ▽バレーボール ③朝日中女子
- ▽ソフトボール ③朝日中女子
- ▽柔道

- ・男子個人48kg級③鈴木裕平(松程 同66kg級①今井健太(大町) 同73kg級①高橋拓也(常盤)
- ・女子個人44kg級①和田麻里奈(小原 同48kg級③五十嵐夏美(栗木沢) 同52kg級③阿部佑香(大町)

- ▽剣道 ①男子団体 ①女子団体
- ・男子個人①堀隼聡(中沢) ②阿部陽祐(緑町)
- ・女子個人①成原佳紀(前田沢)

②志藤綾子(川通)

▽ソフトテニス ②朝日中男子

■少年の主張山形ブロック大会  
(9月16日/山形新聞放送会館)

優良賞 五十嵐綾花(中沢)

第60回国民体育大会秋季大会出場

(10月22日～27日 岡山県)

▽バスケットボール:佐藤弘歩(白

大山形高校二年〓小原)

▽自転車:菅井寛之(法政大学三年

〓小原)

▽弓道:清野由依(寒河江高校二年

〓古槌)

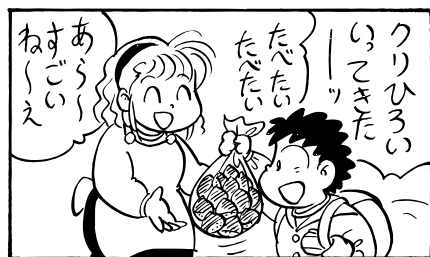
▽剣道:村山仁(酒田商業高校一年

〓大谷七)



# となりの リッポ先生

作・ホリイ ちか子 (177)



## 今月の新刊

### おすすめ本!

#### こどもたちへ -夜回り先生からのメッセージ-



送 橋 /  
渡 邊 秀 弥 さん  
輝 美 さん



「友だちと映画を観に行くんです。お勧めの映画があったら教えてください」社内でも映画好きで評判の秀弥さんに、輝美さんが声をかけたことから交際が始まったお二人。

話してみれば、おとうさんの名前が同じであること、二人の誕生日が一週間しか違わなかったことなど共通点も多く、「一緒にいてお互いが癒され自然体でいられるのが何より」と笑顔で話すお二人。

交際中に遊びに来た時、あたたかく迎えてくれた輝美さんの家族はもちろん、お祭りやビアガーデンにおよばれし、近所の人たちから話をかけられたことで地域の優しさにも触れ、「この地で心地よく流れる穏やかな時間を、輝美と一緒に過ごしていけたら…」と結婚を決意した秀弥さん。

のんびり屋の輝美さんは、リードしてくれる秀弥さんに全面的におまかせで、一度も喧嘩をした事がないとか。また、核家族で育った秀弥さんは、輝美さんを育ててくれた祖父母のいる家族がとても楽しく、一日も早くひ孫を抱かせてあげたいそうです。

心優しいお二人。いつまでもお幸せに!

## 天命

五木寛之 著

人は天命を知り、天命に生きる。最も善良で最も愛した人が、なぜ真つ先に死ななければならなかったか。受入れ難い不公平な死を、どう乗り越えて生きていけば良いのか。五木寛之が赤裸々に語る。

## こどもたちへ-夜回り先生からのメッセージ-

水谷修 著

子どもは必ず幸せに生きなければいけない。14年間の夜の町を歩き続け「夜回り先生」と呼ばれるようになった著者が、普段子どもたちに語り掛けていること、これからよく覚えておいてほしいことを綴る。

## 新聞がなくなる日

歌川令三 著

紙の新聞、宅配の大新聞が消えるのは時間の問題だ!二〇三〇年には死滅するだろう。インターネットというメディアに侵食される新聞の現状と将来を考察。「新聞はなくなつてほしくない」と思っている著者のジャーナリズム論。

▼戦略の本質-戦史に学ぶ逆転のリーダーシップ- (野中郁次郎) ▼花まんま (朱川湊人) ▼一日江戸人 (杉浦日向子) ▼パンツの面目ふんどの沽券 (米原万里) ▼神の発見 (五木寛之) ▼あなたの知らない政治の世界-永田町インサイダー- (日本経済新聞政治部) ▼鬼一弓削是雄全集 (高橋克彦) ▼峠越え (山本一力) ▼オリーブの海 (ケヴィン・ヘンクス) ▼羊の闘い-三浦清一牧師とその時代- (藤坂信子) ▼靖国神社に異議あり『神』となった三人の兄へ (樋口篤三) ▼金子さんの戦争-中国戦線の現実- (熊谷伸一郎) ▼覇王の夢 (津本 陽) ▼千日紅の恋人 (帚木蓬生) ▼へこたれへん。 (辻元清美) ▼私の大好きな国アフガニスタン (安井浩美)

みなさんからのたよりでつくるコーナーです。  
町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ  
感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地  
朝日町役場 政策推進課 地域情報係  
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)  
■Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp  
■URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

## 町民の声

### 防災用品 町で一括購入 できないの？

**八** 月二十日の豪雨と落雷で、西部地区は約三時間ほど停電が続いたのに、町の中心部はすぐに復旧していたということを知りました。中心部は複数の電線が張られており、一端電流が途切れても自動で切り替えられるとのことでしたが、西部地区は単線でそういった対応がすぐにはできないとのことでした。その点について、町ではどのように考えているのでしょうか。

また、自然災害が万が一自分や家族が被災した際、非常持ち出し用の防災グッズを準備している家庭はどれくらいあるのでしょうか。そこで一つ提案です。防災グッズを町で大量に購入することで単価を下げ、それをまとめて町民に販売することはできないものではないでしょうか。

**停** 【阿部康子さん（常盤）】  
電区域や復旧時間のことについて、東北電力（寒河江営業所に問い合わせをしたところ、事故の場所や規模、原因などによりまちまちで、単線区間だから復旧に時間がかかるという一概には言えないそうです。今回の場合、複線化になっている宮宿の一部でも、午後十時過ぎ

まで三時間を超えて停電していた場所があったようです。次に「防災用品を町で購入し販売できないか」についてですが、大災害などの場合、救援体制が整い救援物資が届くまで三日ぐらいいかると考えられます。最低必要な防災用品を、いつでも持ち出せるよう準備しておくことが大切です。

しかし、物資の種類も多岐に渡り、使用期限などもあることから、家族数等にに応じて個人で準備していただくのが良いのではないかと考えます。最近では、ホームセンターなどにも防災コーナークが設けられているようです。行政としては、災害時への備えを広く町民に理解していただくことが、最も重要なこと。機会を通じて情報の提供やPRをしていきたいと思っています。

【総務課防災係】

### 長寿番付表 広報紙掲載で励みに

**以** 前、町の長寿者番付表が広報紙に掲載されていたと思うのですが、ここ数年掲載されていないようです。

高齢者にとって励みになることとすし、ぜひ掲載に向けた検討をお願いします。

【匿名】

## あさひまちの宝箱 vol.21

### 長岡さんの大カヤの木

上郷松原の長岡寛治さんの畑には、このあたりではめずらしいカヤの木の大きな木があります。樹齢は分らないそうですが、88歳まで生きた祖母のはなさんは、「私が小さい頃から全然大きくなった感じはしない」と話していたそうです。相当古いことは確かかなようです。

長岡さんは、収穫した実を“あく（灰）”と“米のとぎ汁”にそれぞれ一週間以上ずつ浸け、最後に干して、炒って食べるそうで、たくさん採れた年は、りんご温泉で販売してもらおうそうです。

また長岡さんは、40年以上も前からミツバチを飼っていらっしゃいますが、カヤノキの下に巣箱を置いておくと、ミツバチの幼虫特有のカビ系の病気が治ってしまうそうです。「カヤの木の出す気の殺菌効果があるのでは」と語ってくれました。

（原稿／安藤竜二）

※あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。

広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。

あさひまち宝さがし実行委員会

### 過

去の広報紙を確認してみたところ、平成七年度までは掲載されていたようです。

それ以降、掲載を見送りにした経緯は様々あるようですが、その当時は、掲載して欲しいという方が多く存在したというのを耳にしています。

近年、社会問題化されてきている悪徳商法への対応や、今年四月に施行された個人情報保護法などを受け、町広報委員会でも

も前向きに検討をさせていただきましたが、今年も掲載を見送る結果となりました。次年度以降の掲載についても、慎重に進めていかなければならないことをご理解ください。

しかし、「励みになる」ということでの今回のご要望、改善できる点は改善していくことで、再度検討させていただく一年にしたいと考えています。

【町広報委員会】







平成17年(2005年)  
■9月1日～9月30日届出



## すこやかに

| 区 名 | 出生児氏名 | 性別 | 保護者名    |
|-----|-------|----|---------|
| 栗木沢 | 遠藤 聖也 | 男  | 一 昭・恵 美 |
| 元 町 | 堀 美鈴  | 女  | 慎・麻 衣   |



## おしあわせに

阿部 秀弥  
(寒河江市)



渡邊 輝美  
(送 橋)

鈴木 誠  
(雪 谷)



菅井 貴子  
(小 原)



## やすらかに

| 区 名   | 死亡者氏名  | 世帯主名 |
|-------|--------|------|
| 宿     | 佐藤 エイ  | 平 吉  |
| 夏 草   | 阿部 きくゑ | 隆 浩  |
| 本 町   | 鈴木 テイ  | 正 明  |
| 下 芦 沢 | 大滝 實   | 光 一  |
| 本 町   | 佐直 信雄  | 雄 二  |
| 中 沢   | 五十嵐 幸次 | 實    |
| 本 町   | 川嶋 はるゑ | 吉 隆  |
| 大 谷 二 | 櫻井 新三郎 | オマツ  |

## 人口と世帯数

### ●平成17年9月30日現在

人 口 8,816人(減13人)

男 4,372人(減4人)

女 4,444人(減9人)

世帯数 2,562戸(減1戸)

( )内 前月比

### 長寿者二人に総理大臣から賀詞 (10月12日／町長から伝達)

今年度中に満100歳を迎えられる佐竹ひてさん(夏草)と田澤高治さん(明鏡荘)の両名に、総理大臣から賀詞の贈呈があり、鈴木町長から伝達されました。



左が田澤高治さん



## トリニティ先生の 英語にチャレンジ!

It's the season of harvest in both Asahi-Machi and America! Harvest time means cooler nights and the changing of leaves. Autumn has arrived! It also means long days in the field harvesting the corn, soy beans, and all the crops that the summer has produced. In America, harvest is usually over by the end of October. Since we have been working so hard to collect all of the crops, it is now time for a celebration. America celebrates with Halloween.

When I was young, we always went to a community Harvest Carnival and then trick-or-treating. The Harvest Carnival had many games and prizes and every one from the community came for the celebration. Afterwards, all the children enjoyed going from house to house getting candy and sweets, called trick-or-treating.

Many people decorate their houses for harvest and Halloween. Decorations include pumpkins, cornstalks, scarecrows, and sometimes some scary things too. But the most popular decoration is the Jack-O-Lantern, this is a pumpkin with a face carved into it.



as a child



Start planning! Community English classes will be beginning in January. They will be held on the second and fourth Wednesday of each month. Please join our classes to make new friends, enrich our minds, and enhance our lives.

朝日町もアメリカも収穫の季節。夜も寒くなり、葉の色も変化する時期です。秋の訪れです!。夏に実をつけた、トウモロコシや大豆、そして全ての作物が収穫の時期を迎えます。アメリカでは10月末日まで収穫の毎日が続きます。一生懸命に収穫作業をし、今、祝いの時を迎えます。アメリカではハロウィーン(=万聖節の前夜祭)と共に祝います。

私は子どもの頃、地区の収穫祭とハロウィーン行事に行きました。収穫祭にはたくさんのゲームと景品があり、地区の人がお祝いのために集まります。その後、子どもたち全員で「お菓子ちょうだい(くれないといたずらするよ)」と言い、お菓子をもらいながら家々をまわりました。これは「トリック オア トリーディング(ハロウィーン行事)」と呼ばれています。

多くの人々は、収穫とハロウィーンのために家を装飾します。飾り付けは、カボチャやトウモロコシの茎、かかし、そして時には、何か怖いものも使います。しかし、もっとも人気がある飾り付けは、顔の形を彫刻した「ジャック・オー・ランタン」と呼ばれるカボチャです。

来年の1月から、町民のみなさんのための英語教室を始めます。毎月第2・第4水曜日実施の予定です。新しい友だちをつくるため、心を豊かにするため、日々の生活を高めていくために、ぜひご参加ください。

# 寒河江西村山地区 防犯広報作品コンクール

## 【標語部門】最優秀賞



えがこうよ 犯罪のない よい町を

大谷小4年 志藤向日葵 さん



優秀賞

「ふりこめ」と  
かかってきても あわてるな  
大谷小4年 五十嵐大義 君



優秀賞

帰り道  
不審な人に 気をつけて  
大谷小4年 志藤汐莉 さん

## 【ポスター部門】優秀賞 (2点)



入選するとは思わ  
なかつたけど、優秀  
賞だと聞いてうれし  
かったです。  
出かける時にカギ  
をしめない人もい  
るので、どろぼうが  
入らないか心配です。  
このポスターを見て  
カギをしめて出かけ  
てくれると、あちつ  
いてくらしが思い  
ます。  
西五百川小3年  
阿部翔子 さん



「私の家は大丈夫  
だ」と言つてカギを  
かけずに油断をして  
います。お金や大切  
な物をぬすまれては  
大変です。  
だから、私が描い  
たポスターを見て、  
戸締まりに気を付け  
る人が増えることで  
この町で安心・安全  
な暮らしができるよ  
うになるといいです。  
西五百川小6年  
長岡明日香 さん



秋晴れや 優しくつつむ  
夕暮れ路  
(はやけん)

のがいいですね」「しまった！  
なまっていってしまった！」後悔する  
やいなや「待てよ？と今  
のどろぼうがなまっていたのか？」  
心の中で何回か言い直したものの  
、全く分からずじまい。  
しかしこの間、カーナビゲ  
ションの音声入力による目的地  
設定で、しっかりと認識できま  
した。誰もが認識できる事前  
登録済みの言葉（例えば「山形  
県」など）以外は、ほとんど認  
識してもらえないことを……

春夏秋冬

編集後記

▽中東イラクにおける自衛隊の  
復興支援活動。自衛隊に対する  
現地の人たちの期待や、現地で  
実際に活動している活動内容を  
直に知ることができました。  
実際に活動に従事してきた自  
衛官の講演を聞き、国際社会が  
必要としている自衛隊の活動内  
容を、真に理解できたような気  
がします。映像に映し出される  
隊員たちの表情は、どれも充  
実した笑顔で輝いていました。  
▽花巻の木更木神社で、地元の  
出来事。一すいません。地元広  
報紙の者が、一すいませんを見  
せ、写真を一枚撮らせていた  
だきま！一すいません、一すい  
の方がひと言。「なまってい



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。